

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【かんしょ】 鹿児島県 福永さん

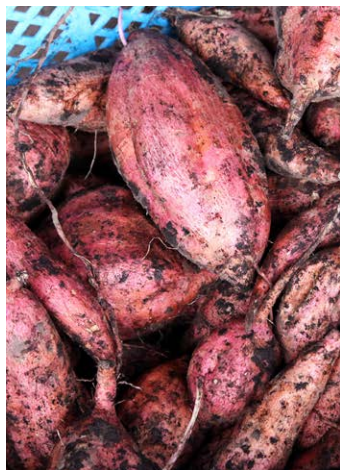
大事な時期に暴れ出す線虫を 全面土壌混和処理でしっかり退治。 様々な土壌条件で効いてくれる。

肥大期のかんしょや種芋に線虫は大敵。
全面土壌混和処理でしっかり守る。

「農業を始めるにあたって1年間研修を受けていたのですが、研修先の農家さんより“ネマトリンエース粒剤を使うべきだよ”と勧められたのがきっかけ」と話すのは、鹿児島県鹿屋市で主にかんしょを栽培している福永さん。先輩農家の言葉を受け就農4年、かんしょ、ばれいしょ、かぼちゃ、らっきょうにネマトリンエース粒剤を使っています。

「線虫は、かんしょの肥大期である8月下旬から9月あたりに騒ぎ始めます。最もダメージを受けてはいけない時期に暴れ出してしまうので、被害は大きいです」。また、翌年植えるかんしょの命となる種芋についても、「種芋から芽出しをして、その養分により良い苗が出来るので、種芋が線虫にやられるといけません」と、線虫防除の大切さを強調します。

「かんしょは畝だけではなく、畝間の下にも根を広げてそこにできた芋も収穫するので、土の中にいる線虫はしっかり防除した方がいい」とのこと。そのため、ネマトリンエース粒剤は全面土壌混和処理しています。「肌ツヤがきれいなかんしょになり、収穫量も増えた」と、その効果に満足げな表情を浮かべます。



*剣は合成です。
(背景はかぼちゃ畑)

ガス抜きの工程がなくなり時短に。
土壌条件が異なっても効果が出るのが利点。

ネマトリンエース粒剤を使うタイミングについて、「散布後土壌混和してすぐ植え付けられるので、タイミングは特に気にしてません」と話す福永さん。「土壌くん蒸剤だと、ガス抜きのためにしばらくの間待たないといけませんが、ネマトリンエース粒剤を使えば散布後すぐに植え付けできる」と、簡便性を感じています。

圃場により土性が違うので、線虫の密度や薬剤の効き方が変わってくるそうです。しかし、「ネマトリンエース粒剤は、土壌条件に左右されにくいという部分がものすごく利点」と話してくれます。

良いかんしょ作りのためにこだわりぬく福永さんの夢は、生産から加工、販売までの6次産業化です。「この地域も高齢化が進んで農業を引退される方が増える中で、6次産業化により新たな雇用を生むことができたらと思います」。地元愛に溢れる福永さんの挑戦はこれからも続きます。

※取材時(2023年10月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。